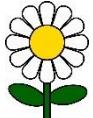


きら☆サポ通信

発行：富士見丘小学校学校支援本部

平成 27 年 4 月 30 日 No.1

「きら☆サポ」とは、「きらきらひかる子供たち」を支える「きらきらひかるサポーター」という意味を込めた富士見丘小学校 学校支援本部の愛称です。



新年度最初の活動は「基礎基本タイム」のプリント丸付け

元気いっぱいの 1 年生 63 人を迎えて、平成 27 年度がスタートしました。毎週火曜日は「基礎基本タイム」で始まります。算数の基礎基本定着を目的に、全学年で行なっています。

学校支援本部は前日までに各学年 1 ~ 3 枚の問題プリントを印刷して用意し、当日は回答済みのプリントを回収し、丸付けして、すぐに返却します。「え！ 丸付けを先生以外の人がやるの？」とご心配でしょうか。プリントには児童の氏名ではなく出席番号が書かれています。さらにサポーターには守秘義務がありますのでご安心ください。



「花マル先生」に新メンバーが加わりました

富士見丘小学校に学校支援本部が設立されたときから続いている活動が、「花マル先生」です。1 年生スタディルーム（金曜日 5 時間目）の時間に、各クラス 3 人の支援本部サポーターが入り、担任の先生、ふじみ学級の先生とともに活動しています。

第 1 回の 4 月 17 日には学校と「花マル先生」の顔合わせ会もあり、校長先生、副校長先生、ふじみ学級の先生たちと、今年度から新たにメンバーになった 2 人（この 3 月に卒業した児童の保護者）も出席し、活動の目的を確認しました。

そして今年度からは 2 年生のスタディルームも支援本部がお手伝いすることになりました（年間 10 回）。2 年生の第 1 回は 4 月 24 日の 6 時間目。約 30 人の児童に対し、大人が 12 名という充実した体制で行なわれました。



4 月 21 日、低学年保護者会での託児

学校支援本部では、新年度最初の低学年保護者会に対応して、児童の「預かり」を行なっています。児童一人での留守番になる場合や、通学時間が長く保護者会開始時刻までに児童が帰宅できないなどの場合に、保護者が安心して保護者会に出席できるよう、数年前から始まった取組です。事前に申し込みのあった 1、2 年生を、下校後から保護者会終了までの時間、図書室で見守ります。

今年度は 1 年生 26 人、2 年生 29 人が参加し、支援本部は 7 人のサポーターで対応しました。参加者名簿を作成し、帰りの会が終わった各教室に迎えに行きます。ふじみルームにランドセルを置いたら名前を呼んで再度確認し、胸には名前を貼ります。

本を読んだり宿題をしたり…、折り紙、粘土も大人気です。それぞれのコーナーにサポーターが付き、トラブルがないように見守ります。途中で上の学年のきょうだいが迎えに来て一緒に帰る児童もありますので、しっかり確認して引き渡しをします。そして児童から「たいくつ～。」の声が聞こえ始めたら、ふじみルームで DVD 鑑賞会。そうこうしているうちに保護者会が終わり、お母さんが迎えに来ます。名前を確認して、忘れ物がないかチェックして、引き渡し完了！

「きら☆サポ通信」は富士見丘小学校学校支援本部の活動をお伝えします。